

## めざすうえで知っておきたい 映像コンテンツ 翻訳最新事情



新型コロナウイルスの影響を受け、各方面で動画の利用が進み  
動画配信サービスも急成長を遂げるなど映像業界は大きく変化している。  
今、映像翻訳需要はどうなっているのか。  
翻訳者養成スクールと翻訳エージェントを運営する日本映像翻訳アカデミーに聞いた。

**「動画の時代」の到来によって、映像翻訳需要が拡大傾向にあるなか、コロナ禍の巣ごもり需要がそれに拍車をかけた。日本映像翻訳アカデミーの映像翻訳受発注部門、メディア・トランスレーションセンター（以下、MTC）では、字幕翻訳・吹替翻訳ともに2021年の取扱総額が過去最高を記録した。**

**\*映画**  
（社）日本映画製作者連盟によると、劇場公開された洋画の数は、2019年が589本、20年が511本、21年が469本とコロナ禍の影響で減少傾向にある（※1）。ただし、海外の映画が動画配信プラットフォームやテレビ放送で視聴される機会は明らかに増加している。20年半ばまではスタジオでの吹替版制作が滞るなどしたが、同年後半からは回復。動画配信プラットフォーム各社からは劇場

公開を前提としない作品が生まれ、また、劇場公開は少ないドキュメンタリー映画や短編映画などの視聴機会も増えている。

さらに海外上映や国際映画祭に出品する邦画が増え、日本語から英語、多言語への字幕翻訳も増加している。

**\*地上波、CS/BS**  
地上波テレビ放送では、「世界の衝撃映像」などと銘打って、海外の番組やSNS、YouTubeの動画を再編集して放送する枠が増えている。その場合、局や番組制作会社が放送権を購入した素材のすべてを翻訳する仕事（素材翻訳）が発生することが多い。スクリーン（台詞やコメントのテキスト）がない素材もあり、原語のリビング力が高い映像翻訳者が有利な依頼も少なくない。

またBS/CS放送では米英のドラマや韓流ドラマに加え、近年は「中国歴史ドラマ」や「北欧サスペンス」にも注目が集まり、数多くの日本語字幕・吹替版が放送されている。

**\*DVD、ブルーレイ**  
（社）日本映像ソフト協会によるとDVDの売上数量は2005年、ブルーレイは15年をピークに大きく減少傾向にある（※2）。動画配信市場の急拡大によるレンタルビデオ店の減少が原因であり、DVD、ブルーレイ単体の翻訳依頼は減つても、その分、動画配信用の翻訳依頼が増えたので、全体として映像翻訳のニーズに影響はない。

**\*動画配信**  
日本における2020年の定額制動画配信（SVOD）の市場規模は推計で3200億円超（※3）、全世界では700億ドル（約8兆4000億円）に迫るといふ調査結果もある。シェア上位はNetflix、Amazonプライム・ビデオ、U-NEXT、DAZN、Huluなど。また、Disney+作

「動画の時代」で翻訳需要は絶好調  
ビジネス系映像需要が新たな潮流に



日本映像翻訳アカデミー  
(JVTA = Japan Visualmedia Translation Academy)  
グループ代表  
新楽直樹さん

協力/日本映像翻訳アカデミー

イカロス@GCK

通訳翻訳 MGCK  
https://tsuhon.jp

メディア・エンタメを訳そう!

# 出版&映像翻訳 完全ガイドブック

世界の本・映画・ドラマ・漫画・ゲームの  
翻訳者になる!

## 出版翻訳編

- ▶ Report 翻訳書ができるまで
- ▶ 翻訳出版市場の最新動向
- ▶ Debut Story & 収入・印税

## 映像翻訳編

- ▶ Report 字幕ができるまで
- ▶ プロのワークスタイル & 収入・料金
- ▶ ビジネス系映像翻訳

## エンタメ翻訳編

- ▶ 仕事を知る  
ゲーム翻訳/漫画の翻訳
- ▶ Debut Story & プロ翻訳者インタビュー

## 出版&映像翻訳 誌上スキルアップ講座

- ・出版翻訳講座
- ・字幕翻訳講座
- ・レジュメの書き方

お役立ち DATA

出版翻訳&映像翻訳が学べる  
スクール&コースリスト



品をはじめビクター、マーベル、スター・ウォーズシリーズを視聴できるDisney+、さらにはApple TV+やYouTube Premiumなども台頭し、シェア争いを演じている。エンタメ系における映像翻訳の主要舞台は動画配信プラットフォームといえる。

### 字幕と吹替翻訳の動向

#### \*字幕の需要

字幕翻訳の需要は増加している。動画配信プラットフォーム上でのコンテンツでは、定番の映画やドラマに加え、バラエティ番組やドキュメンタリー作品の増加が目立つ。また、東京オリンピック・パラリンピックの影響もあり、スポーツ番組の需要が高まった。また特筆すべきはビジネス需要である。コロナ禍の影響で展示会や講演会等がリモート化したことで、ビジネス系動画の字幕翻訳需要が一気に増加した。その一方で、コロナ前に発生していたインバウンドに関する海外向けの観光プロモーション動画の多言語字幕に関連する需要は減少した。

#### \*コンテンツの傾向

エンタメ系コンテンツでは主に動画配信プラットフォーム各社でバラエティSDG&関連動画、社内広報動画など。前述のように、エンタメ系映像・動画コンテンツも増えてきているが、今、翻訳・通訳業界全体に「映像翻訳ブーム」と捉えられるほどの盛り上がりが見られる背景には、幅広い産業分野でのビジネス系映像・動画コンテンツの急増がある。ビジネス系コンテンツの市場調査は行われていないので数字では明記できないが、日本最大の翻訳会社(株)翻訳センターが「動画翻訳」を自社の成長事業に掲げていたり、産業翻訳を専門にしていた多数の翻訳会社が映像翻訳を自社のサービスに加えて、映像翻訳者の募集を行うなど、さらなる増加の兆しが見られる。

日本映像翻訳アカデミーの修了生を見ると、エンタメ系とビジネス系をバランスよく受注しているプロや、ビジネス系を中心に据えて活動の幅を広げているプロが増加している。

#### \*ゲームなどその他のニーズ

ゲームの世界では、字幕・吹替翻訳を必要とするタイトルも多し。さらに料理、キャンプ、DIY、新スポーツなどを紹介・解説する動画など、YouTubeやTikTok、SNSなどで視聴できる動画の爆発的な増加に比

番組、リアリティショー、ドキュメンタリー番組の字幕翻訳需要が増えている。恋愛バラエティやオーディション系番組に加え、世界的にヒットした映画やドラマからのスピンアウトとして生まれた特番も人気だ。また、MTICでは「相棒」や「ドクターX」外科医、大門未知子、「半沢直樹」といった大人気ドラマの米国放送用英語字幕も制作している。

#### \*吹替の需要

吹替翻訳の需要も増加している。背景には視聴世代の拡大(視力の配慮、子どもへの対応など)、視聴方法の多様化がある。また、日本では声優の人気が高く、吹替版への注目が集まる傾向がある。こうしたことから、若者を中心に、字幕より吹替を選ぶ視聴者が増えているようだ。

#### \*コンテンツの傾向

映画・ドラマの主要作品では字幕版と吹替版の両方を制作するのが通例となってきた。例えばWOWOWでは一部の海外人気ドラマを字幕版と吹替版で日時を分けて放送している。子ども向けのアニメーションではテレビ放送版に加えて映画版が作られることも多い。また、韓流ドラマの変わらぬ人気に加え、昨今は「中国歴史ドラマ

例として、字幕・吹替翻訳のニーズが増している。

ただし、こうしたメディアでは、プロではない投稿者やファンが翻訳した字幕と、プロが制作した字幕が混在しているのが現状だ。「TEDTalks」のように無報酬を前提に有志によって翻訳される例も少なくない。しかし、収益事業としての狙いがある動画についてはプロの映像翻訳者に発注されることが多く、今後ますます増えていくと予想される。

### 映像翻訳の未来・今後

映像・動画翻訳の需要は急増しているが、世界規模での「グローバル化の時代」、「動画の時代」は始まったばかりだ。5Gなどによる通信速度の向上などにより、動画視聴時間はさらに伸びるだろう。さらに、今後大きく発展する分野と見られている「メタバース(コンピュータネットワーク上で構築される3次元の仮想空間)」の世界でも、映像翻訳は必要とされている。これらのことから、映像翻訳需要のさらなる拡大は必至だ。

実務・産業翻訳の世界ではMTが急速に実務化されていると聞くと、映像翻訳に関してはMTによる代替は現状としては皆無であり、将来的な

### 生き残れる映像翻訳者の条件

1. 字幕・吹替翻訳の理論やルールを言葉で説明できること
2. フリーランスとしてビジネス上の正しいルールや法令を知っていること
3. SNSなどを活用して自身のスキルや実績を広くアピールできること

- 1・需要急増で新たな発注者(クライアント)が映像翻訳に精通しているとは限らない。そのため、映像翻訳者自身が業界事情や翻訳ルールを説明する意識と備えが必要。翻訳に自信を持ち、意訳や省略、言い換え、創作部分などについて、その理由(理論やルール)をわかりやすく説明できるプロが信頼を得る。
- 2・どの世界でもコンプライアンス(法令順守)とビジネスルールの厳格化が顕著だ。動画や台詞台本の取り扱い、メール等の文書管理、納品した字幕・吹替原稿の著作権などについては、学習して備えないと評価を下げたりトラブルを招いたりすることになる。新人でも、こうした点を勉強し、実践する必要がある。
- 3・昔の「営業」ではなく、今後はSNSやブログ、ホームページなどを賢く活用し、セルフプロモーションを行うノウハウが必要。単に実績や資格、学歴、職歴を記せばよいわけではない。「説明責任を果たせるプロ」であること、「法令を守り、ビジネスルールを理解したプロ」であることをわかりやすく表現してアピールできるとよい。

### 急増するビジネス系コンテンツの映像翻訳

今の映像翻訳需要を急激に押し上

マがブームが起きており、中日吹替翻訳のニーズも高まっている。

げている要因の一つが「ビジネス関連の動画コンテンツ」であり、以下のようなものがある。

- ・研修・技能等の教育・講演会の動画
- ・商品やサービスの広報・広告・プロモーション動画
- ・IR(インバスター・リレーションズ)

### これから映像翻訳者をめざす人へ

#### 需要は底堅いが競争・競合激化 新たな領域への挑戦も必要

多くの翻訳会社が「映像翻訳・動画翻訳」の登録者を求めている。昨今は自治体の入札案件に字幕・吹替翻訳の仕事が挙がったり、クラウドソーシングサイト上に「字幕・吹替翻訳」の求人が出たりすることも珍しくない。

字幕・吹替翻訳がMTの影響を受け難いこともあり、他の翻訳から映像分野に進出、兼業をする人も増えている。つまり、需要は底堅いが競争・競合も激しくなる。長く安定して望む収入を確保できるプロになるためには、基礎をしっかり学び、エンタメ系を中心としながらもビジネス系や新分野の動画といった新たな領域に挑戦している意欲と知識が求められる。

代替も難しいだろう。字幕・吹替翻訳には映像との兼ね合いで発生する制約が多く、意訳や創作、言い換え、省略が常態化しているからだ。MT研究者の間でも、起点言語・目的言語のいずれかが日本語の場合、自然な口調や話し言葉をMTで代替するのはさらに難しいと言われている。

MTが映像翻訳者にとって代わることはあり得ないが、映像翻訳者にはMTを活用して品質・スピードを上げることが求められるようになるだろう。

#### 参考サイト

- ※1・(一社)日本映画製作者連盟「日本映画産業統計」  
http://www.eiren.org/toukei/data.html
- ※2・(一社)日本映像ソフト協会「年間売上統計」  
https://www.jva-net.or.jp/
- ※3・GEM Partners 株式会社「動画配信(VOD)市場5年間予測(2022-2026年)レポート」  
https://www.gempartners.com/news/20220218\_02